

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	メーキング基礎実習Ⅰ			授業のねらい ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。
担当教員	嶺脇、赤澤、中梶、永尾、井上、多賀谷			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	296時間	単位数	8単位	到達目標 新たな加工法と知識を学び、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝赤澤（ジュエリークリエイター）、嶺脇（ジュエリー作家）中梶（根付作家）			
授業の計画展開	メーキング基礎実習Ⅰ-1(リング制作)			
	内容	道具加工・糸ノコ切り回し／平打ちリング／甲丸リング リングの最も基本的な形状の平打ちリングと、商品に多く使われる甲丸リングの制作を通し、プロセスや使用する工具について学ぶ		
	メーキング基礎実習Ⅰ-2(覆輪留めリング)			
	内容	覆輪留めリング カボションカットの覆輪留めリングを制作することにより、石座制作のプロセスを学ぶ		
	メーキング基礎実習Ⅰ-3(爪留めペンダント)			
	内容	ファセットカットの爪留めペンダントを制作することにより、石座制作のプロセスを学ぶ		
	メーキング基礎実習Ⅰ-4(彫留め技法)			
	内容	彫り留めリング／ピアス 小さな石を留める技法を学ぶ		
	メーキング基礎実習Ⅰ-5(ヒンジバングル)			
	内容	バングル制作 カシメ・ヒンジの構造の理解と制作方法		
履修上の注意事項				
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	メイキング造形実習Ⅰ			授業のねらい ジュエリー制作に必要な基本的な工具・素材の扱い方を含めた彫金技術をアイテム毎に習得していく。 また、各自でデザインをしながら、技法を使った制作を進める。ジュエリーコンペイションではジュエリーに於ける自己表現のあり方や自己の探求を求める。
担当教員	嶺脇、赤澤、中梶、永尾、井上、多賀谷			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	472時間	単位数	15単位	到達目標 新たな加工法と知識を学び、各自の制作テーマを考え制作計画を立て、それに基づいて着実に作品を仕上げることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝赤澤（ジュエリークリエイター）、嶺脇（ジュエリー作家）中梶（根付作家）			
授業の計画展開	メイキング造形実習Ⅰ-1(ブローチ制作)			
	内容	オーバーレイの制作方法とブローチ金具の取り付け方法を学ぶ		
	メイキング造形実習Ⅰ-2(WAXリング)			
	内容	ワックス基本リング／ワックスデザインリング WAX造形技法を学び、基本形状リングの制作 テーマからリサーチし、オリジナルリングを制作する WAX原型制作から鑄造方法、仕上げまでのロストワックス技法のプロセス		
	メイキング造形実習Ⅰ-3(ワイヤーピアス)			
	内容	ワイヤーピアス 具象物をモチーフとし、シルバー線でピアスを制作する		
	メイキング造形実習Ⅰ-4(素材×ジュエリー)			
	内容	鹿の角を使用したジュエリーの制作 環境問題からのジュエリー提案 素材の生まれる現場を知る		
授業の計画展開	メイキング造形実習Ⅰ-5(ジュエリーコンペティション)			
	内容	ジュエリーコンペティション 1年間で習得した技法や技術を生かし、オリジナルジュエリーの制作を行う		
	メイキング造形実習Ⅰ-6(オリジナルストーンリング)			
授業の計画展開	内容	自身でカットした宝石を留めたリングの制作		
履修上の注意事項				
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	デザイン実習Ⅰ			授業のねらい ジュエリーデザインに必要な基本的なレンダリング、製図読解、アイデア展開からPCスキルまでを包括的に習得していく。
担当教員	嶺脇、黒沢、田坂、土屋			
対象学年	1年			
必修選択の別	必修			
授業時数	208時間	単位数	7単位	到達目標 ジュエリーデザインに必要な基本的な知識、方法を学び、確実に仕上げることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝嶺脇(ジュエリー作家)、黒沢(ジュエリー作家)、田坂(ジュエリーブランドオーナー)、土屋(ジュエリーデザイナー)			
授業の計画展開	デザイン実習Ⅰ-1(デザイントレーニング①)			
	内容	デザイントレーニング		
	デザイン実習Ⅰ-2(デザイントレーニング②)			
	内容	オーダージュエリー		
	デザイン実習Ⅰ-3(製図の基礎1)			
	内容	dr1スケッチ/dr2立方体/dr3円柱 dr4立体図から図面/dr5図面読解 dr6質感表現1/dr7平打ちリング		
	デザイン実習Ⅰ-4(製図の基礎2)			
	内容	dr8甲丸リング/dr09リング製図 dr10リングの構造/dr11石付きリングの構造		
	デザイン実習Ⅰ-5(オリジナルストーンリングデザイン)			
	内容	自身で研磨した石を留めたリングのデザイン		
デザイン実習Ⅰ-6(製図の基礎3)				
内容	dr12サイドメレリング/dr13取り巻きリングの構造			
デザイン実習Ⅰ-7(CAD造形ペンダント)				
内容	デジタル演習(アフィニティデザイン／シェイパー3D)			
履修上の注意事項				
評価方法	課題提出の内容、日頃の姿勢、出席による総合評価 *授業の計画展開にある課題毎に成績評価します。			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	ジュエリー・バイブル、世界のジュエリーアーティスト			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	宝石学Ⅰ			授業のねらい 宝石に関する全般的な基礎知識（流通用語、耐久性と物理的特性、輝きと光学的特性、処理や合成など）を幅広く習得する。
担当教員	森			
対象学年	１年			
必修選択の別	必修			
授業時数	30時間	単位数	1単位	到達目標 広く知られた宝石の名称とその特徴を知識として確実に覚えることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	宝石学-1(宝石の基礎知識)			
	内容 宝石の基礎知識			
履修上の注意事項				
評価方法	ペーパーテストの得点			
テキスト	学校オリジナルテキスト			
参考文献	宝石教室、宝石、ジュエリーコーディネーター検定３級テキスト			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	メーキング基礎実習Ⅱ			授業のねらい 1年次に学んだ石留めの基礎技法に基づき、多種に渡る新たな石留め技法を学ぶ。また七宝技法を学び、宝飾技法の基礎を習得する。
担当教員	山田、金、外山			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	216時間	単位数	6単位	到達目標 規定の宝石を美しく石留めし、作品を仕上げる事を目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝花岡(ジュエリー作家)、外山(ジュエリー作家)、金(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	メーキング基礎実習Ⅱ-1(キャストリング)			
	内容	サイズ直し、石留め		
	メーキング基礎実習Ⅱ-1(石留め実習)			
	内容	彫り留め(毛彫り留め、ミル留め)、マス留め、パヴェ留め		
	メーキング基礎実習Ⅱ-3(七宝ペンダント)			
	内容	カシメ構造による七宝ジュエリーの制作		
	メーキング基礎実習Ⅱ-4(宝石研磨)			
	内容	ファセットカット制作		
	メーキング基礎実習Ⅱ-5(プラチナ石留めペンダント)			
	内容	ファンシーカット石座、Ptペンダントの制作		
履修上の注意事項	指定された種類、サイズの石を規定の留め方で石留めし、基礎をおさえる事が重要となる			
評価方法	1.課題作品:技術力 2.制作意欲:日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	メイキング造形実習Ⅱ			授業のねらい 1年次で学んだ基礎技法に基づき、ジュエリーの各アイテムにおける金具の扱い方、装着感、重量バランスを学ぶ。指定のテーマに基づき各自が作品コンセプトを設定し、伝統技法を用いた作品を制作する。
担当教員	山田、金、外山			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	552時間	単位数	17単位	到達目標 新たな加工法と知識を学び、各自がテーマを探り制作計画を立て、着実に作品を完成させることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝花岡(ジュエリー作家)、外山(ジュエリー作家)、金(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	メイキング造形実習Ⅱ-1(パール、七宝イヤリング)			
	内容 七宝技法、パール玉座の構造、イヤリングの制作			
	メイキング造形実習Ⅱ-2(打ち出しブローチ)			
	内容 打ち出し技法、金具研究			
	メイキング造形実習Ⅱ-3(象嵌ピンブローチ)			
	内容 象嵌によるピンブローチの制作			
	メイキング造形実習Ⅱ-4(テーマからのジュエリー制作示・試作)			
	内容 テーマに基づいたジュエリーの提案・試作			
	メイキング造形実習Ⅱ-5(テーマからのジュエリー制作・本作)			
	内容 テーマに基づいたジュエリー制作			
履修上の注意事項	指定の金属加工法を習得した上で、各自のテーマに基づいた作品制作を行うことが重要である			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	デザイン実習Ⅱ			授業のねらい
担当教員	赤澤、花岡、田坂、黒澤			
対象学年	2年			
必修選択の別	必修			
授業時数	208時間	単位数	7単位	到達目標
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝花岡(ジュエリー作家)、田坂(ジュエリーブランドオーナー)、黒沢(ジュエリー作家)、赤澤(ジュエリークリエイター)			
授業の計画展開	デザイン実習Ⅱ-1(ブランドリサーチ)			
	内容	ブランドリサーチ、企画デザイン		
	デザイン実習Ⅱ-2(テーマに基づいたジュエリーデザイン)			
	内容	展示会のためのジュエリーデザイン		
	デザイン実習Ⅱ-3(3Dデザイン)			
	内容	立体造形		
	デザイン実習Ⅱ-4(ハイライトレンダリング)			
	内容	グラフィックソフトを使用してのハイライトレンダリング		
	デザイン実習Ⅱ-5(デザインドリル)			
	内容	デザインドリル、ペンダントデザイン		
	デザイン実習Ⅱ-6(CAD造形)			
	内容	ライノセラスによるCADデータ作成		
	デザイン実習Ⅱ-7(ブライダル)			
	内容	マリッジリングのデザイン		
履修上の注意事項	指定テーマ及び市場調査から得た情報を各自が深く洞察し、自身の表現を探究することが重要である			
評価方法	1.課題作品:展開力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	メイキング造形実習Ⅲ			授業のねらい 2年次までに習得した伝統技法を発展させ、さらに多様な金属加工及び彫刻を学ぶ。また、指定テーマにおける表現の可能性を探求する。
担当教員	花岡、神崎、星野、金			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	768時間	単位数	23単位	到達目標 新たな金属加工技術を習得し、指定のテーマにおける独自性のある作品を完成させる事を目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
教員紹介	実務経験有＝神崎(ジュエリー作家)、花岡(ジュエリー作家)、星野(ジュエリー作家)、金(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	メイキング造形実習Ⅲ-1(洋彫りバングル)			
	内容 洋彫り、和彫りのバングル制作			
	メイキング造形実習Ⅲ-2(ストーンジュエリー)			
	内容 糸魚川翡翠を使ったジュエリー制作			
	メイキング造形実習Ⅲ-3(フィリグリー、グラニュレーション)			
	内容 フィリグリー、グラニュレーション、ピアス、ペンダントトップの制作			
	メイキング造形実習Ⅲ-4(ストーンカービング)			
	内容 宝石研磨			
	メイキング造形実習Ⅲ-5(テーマからのジュエリー制作①)			
	内容 テーマに基づいたK18ジュエリーの制作			
	メイキング造形実習Ⅲ-6(テーマからのジュエリー制作②)			
	内容 テーマに基づいたK18ジュエリーの制作			
	メイキング造形実習Ⅲ-7(七宝ジュエリー)			
	内容 七宝ジュエリーの制作			
履修上の注意事項	指定の金属加工法を習得した上で、各自のテーマに基づいた作品制作を行うことが重要である			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	デザイン造形実習Ⅲ			授業のねらい
担当教員	土屋、齋藤、花岡			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	192時間	単位数	6単位	到達目標
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝土屋(ジュエリーデザイナー)、齋藤(現代美術作家)、花岡(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅲ-1(ストーンジュエリー)			
	内容	糸魚川翡翠を使ったジュエリーデザイン		
	デザイン造形実習Ⅲ-2(テーマに基づいたジュエリーデザイン)			
	内容	展示会のためのジュエリーデザイン		
	デザイン造形実習Ⅲ-3(コンセプト)			
	内容	・自身のものづくりのコンセプトをプレゼンテーションする		
	デザイン造形実習Ⅲ-4(CAD造形)			
	内容	CADによるリングデザイン		
	デザイン造形実習Ⅲ-5(宝石知識とデザイン)			
	内容	・オリジナル研磨石を使ったリングデザイン		
	デザイン造形実習Ⅲ-6(リフォーム)			
	内容	・リフォームデザイン		
	デザイン造形実習Ⅲ-7(ポートフォリオ)			
	内容	ポートフォリオ		
履修上の注意事項	指定のテーマを深く洞察する事と自身の提案を資料に的確にまとめられることが重要である			
評価方法	1.課題作品:展開力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース

科目名	宝石学Ⅲ			授業のねらい 1,2年次に学んだ宝石知識の復習及び、多種に渡るカラーストーンの特徴、品質、市場性についての知識を深める。
担当教員	森			
対象学年	3年			
必修選択の別	必修			
授業時数	16時間	単位数	1単位	到達目標 各鉱物の特性を習得する事で、ジュエリーデザイン、制作に於いて適切にカラーストーンを扱えることを目指す。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考				
授業の計画展開	宝石学Ⅲ(カラーストーン)			
	内容	カラーストーンの品質、特性についての講義		

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース アドバンスドジュエリー専攻

科目名	メーキング造形実習Ⅳ			授業のねらい 3年次までに習得した伝統技法を発展させ、指定のテーマにおける自己表現の可能性を探求する。また、宝石研磨技術を習得し独自性のある作品を目指す。
担当教員	島崎、山田、花岡、齋藤、佐々木、清水			
対象学年	4年			
必修選択の別	必修			
授業時数	768時間	単位数	23単位	到達目標 指定のテーマにおける独自性のある作品を完成させる事を目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝島崎(ジュエリーブランドオーナー)、佐々木(ジュエリー作家)、清水(ジュエリーブランドオーナー)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅳ-1(金具研究)			
	内容 金具の研究			
	メーキング造形実習Ⅳ-2(リサーチ)			
	内容 素材、技法リサーチからのジュエリー制作			
	メーキング造形実習Ⅳ-3(ストーンカービング)			
	内容 オリジナルストーンのカービング			
	メーキング造形実習Ⅳ-4(オリジナルカットストーンジュエリー)			
	内容 オリジナルストーンのジュエリー			
	メーキング造形実習Ⅳ-5(卒業制作)			
	内容 卒業制作			
履修上の注意事項	習得した技法をいかし、各自の研究テーマを設定し、深い探求を通して独自性を生み出すことが重要である			
評価方法	1.課題作品:技術力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	「ジュエリーバイブル」			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース アドバンスドジュエリー専攻

科目名	デザイン造形実習Ⅳ			授業のねらい
担当教員	田坂、齋藤、島崎			
対象学年	4年			
必修選択の別	必修			
授業時数	256時間	単位数	8単位	到達目標
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝田坂(ジュエリーブランドオーナー)、島崎(ジュエリーブランドオーナー)、齋藤(現代美術作家)			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅳ-1(テーマからのジュエリーデザイン)			
	内容	宝石知識講義、ジュエリーデザイン		
	デザイン造形実習Ⅳ-2(宝石知識とデザイン①)			
	内容	宝石知識講義、ジュエリーデザイン		
	デザイン造形実習Ⅳ-3(セルフブランディング①)			
	内容	セルフブランディングのためのジュエリー提案		
	デザイン造形実習Ⅳ-4(セルフブランディング②)			
	内容	セルフブランディングのためのジュエリー提案		
	デザイン造形実習Ⅳ-5(宝石知識とデザイン②)			
	内容	宝石知識講義、ジュエリーデザイン		
	デザイン造形実習Ⅳ-6(卒業制作)			
	内容	卒業制作のデザイン		
	デザイン造形実習Ⅳ-7(ビジュアルプレゼンテーション)			
	内容	ビジュアルを使用したプレゼンテーション		
	デザイン造形実習Ⅳ-8(卒業制作プレゼンテーション)			
	内容	卒業制作プレゼンテーション		
履修上の注意事項	指定のテーマを深く洞察する事と自身の提案を資料に的確にまとめられることが重要である			
評価方法	1.課題作品:展開力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース インスティテュート専攻

科目名	メーキング造形実習Ⅳ			授業のねらい 様々なリサーチ方法を学習し、事象を深く見つけることで新たな自己の表現を見つけるまでのプロセスを習得する。
担当教員	嶺脇、島崎、佐々木			
対象学年	4年			
必修選択の別	必修			
授業時数	768時間	単位数	23単位	到達目標 深くリサーチを進めていきながら、新たな自己の表現を見つけ、確実に作品に仕上げることを目標とする。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝嶺脇(ジュエリー作家)、島崎(ジュエリーブランドオーナー)、佐々木(ジュエリー作家)			
授業の計画展開	メーキング造形実習Ⅳ-1(0から1を生み出す)			
	内容	自身のクリエイションを高めるためのリサーチ		
	メーキング造形実習Ⅳ-2(デザインセッション)			
	内容	国内外からアーティスト、デザイナーを招いて行う特別授業		
	メーキング造形実習Ⅳ-3(1から10を生み出す)			
	内容	自身のクリエイションからの展開		
	メーキング造形実習Ⅳ-4(コミュニケーション)			
	内容	既存のものの発展・進化/日本の文化・産業・伝統をリサーチ/団体や企業とのコラボレーション / 展示販売		
	メーキング造形実習Ⅳ-5(10から100を生み出す)			
	内容	卒業制作		
履修上の注意事項				
評価方法	課題作品、日頃の制作姿勢、出席による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	なし			
参考文献	なし			

授業シラバス

コース名 アドバンスドジュエリーコース インスティテュート専攻

科目名	デザイン造形実習Ⅳ			授業のねらい デザインアイデア・センスの強化やデザインの知識を習得する 社会を実感し貢献していく
担当教員	嶺脇、齋藤			
対象学年	4年			
必修選択の別	必修			
授業時数	256時間	単位数	8単位	到達目標 デザインの考えや展開力を習得し、自身のクリエイションにつなげる。 自分自身が進んで行動することで社会とつながる。貢献する。
開講期間	2025.4.1～2026.3			
授業形態	実習			
備考	実務経験有＝嶺脇（ジュエリー作家）、齋藤（現代美術作家）			
授業の計画展開	デザイン造形実習Ⅳ-1（センスを磨く①）			
	内容	デザインアイデアの学び		
	デザイン造形実習Ⅳ-2（ギャラリープランニング）			
	内容	展覧会企画		
	デザイン造形実習Ⅳ-3（センスを磨く②）			
	内容	デザインアイデアの学び		
	デザイン造形実習Ⅳ-4（プレゼンテーション①）			
	内容	企業に向けてのプレゼンテーション		
	デザイン造形実習Ⅳ-5（インターン①）			
	内容	各自でインターン先を決めて社会を実感・貢献する		
	デザイン造形実習Ⅳ-6（プレゼンテーション②）			
	内容	後輩に向けてのプレゼンテーション		
	デザイン造形実習Ⅳ-7（インターン②）			
	内容	各自でインターン先を決めて社会を実感・貢献する		
	デザイン造形実習Ⅳ-8（教育実習）			
	内容 1年生授業サポート			
履修上の注意事項	指定のテーマを深く洞察する事と自身の提案を資料に的確にまとめられることが重要である			
評価方法	1.課題作品:展開力・造形力・独創性 2.制作意欲:探究心・日頃の制作姿勢、出席状況による総合評価 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します			
テキスト	ヒコ・みづのジュエリーカレッジ オリジナルテキスト			
参考文献	なし			